

取扱説明書

ミドリグリーン Advance

| Cat.No. | 概要 | 包装単位 |
|---------|---|------------|
| NE-MG03 | Midori Green "Advance" DNA Stain 【トライアルキット】 | 50 μ L |
| NE-MG04 | Midori Green "Advance" DNA Stain | 1 mL |

ミドリグリーンAdvanceは、エチジウムブロマイド (EtBr) に替わる安全なDNA蛍光染色試薬です。

【特長】

- EtBrに比較してより安全なアガロース電気泳動用核酸染色用試薬です。
- DNAやRNAと結合し、緑色の蛍光を発します。
- 励起波長：490 nm付近に強い1次ピーク、 \sim 270 nmと \sim 290 nmに2次ピークがあります。
- 蛍光波長： \sim 530 nmです。
- 先染め、後染めどちらも可能です。

【保存条件】

室温または4℃ (必ず遮光保存してください)

【使用期限】

製品ラベルに記載の期限まで

【安全性】

ミドリグリーンAdvanceは、非発癌性です。エームス試験の結果、EtBrよりも圧倒的に低い変異原性を示しました。

【使用方法】

● 先染めの場合

- ① アガロースゲル溶液を任意の方法で作製してください。(オートクレーブ、電子レンジ等を使用)
- ② ゲルの温度が50 \sim 60℃に冷めたら、アガロースゲル100 mLに対してミドリグリーンAdvance 4-6 μ Lを添加し、混合してください。
- ③ ゲルをゲル作製用トレーに流し込んでください。(ゲル厚を0.5 cm以下にすることが染色の成功につながります)
- ④ ゲルが十分に固まったことを確認してから電気泳動してください。
- ⑤ 泳動結果は、UVまたはLEDイルミネータで検出してください。

● 後染めの場合

- ① 電気泳動用バッファ 100 mLに対してミドリグリーンAdvance 10-25 μ Lを添加、混合し染色用溶液を作製してください。(作製した溶液は2 \sim 3回使用可能です。)
- ② 電気泳動後のゲルを①で作製した溶液に浸し、5 \sim 60分間ゆっくり振盪してください。
- ③ バックグラウンドが高い場合は、染色後に蒸留水または泳動バッファで5-45分間振盪洗浄して脱色ください。
- ④ 泳動結果は、UVまたはLEDイルミネータで検出してください。

【注意】

- 作製するゲル厚は、0.5 cm以下にすることが染色の成功につながります。
- 一般的な試薬の取扱いと同様に、取扱いは十分ご注意ください。操作時には、グローブをご着用ください。使用後は、各施設の基準に従って廃棄してください。
- 陰イオン界面活性剤 (SDSなど) 等を含むPCRバッファまたはLoadingバッファを使用した場合、ミドリグリーンAdvanceで陰イオン物質が染色され検出される場合があります。
- ミドリグリーンAdvanceは、電気泳動でのDNAバンドの確認を目的として開発されましたため、DNAを定量する目的に関しては、検証されておりません。